広報みとよ
2014
7月号
平成26年7月1日発行

蘇る一瞬 みとよ写真帳 page 19

このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。

懐かしの1枚

賀茂神社鎮座850年祭
昭和9(1934)年・仁尾町

賀茂神社の起源は応徳元(1084)年と伝えられており、昭和9(1934)年には鎮座850年祭が行われた。賀茂神社は当初は大蔦島に勧請されたが、14世紀半ばに対岸の現在地に遷座した。そのため鎮座850年祭では、多くの船で大蔦島に渡御している。現在も大蔦島には元宮(沖津宮)が存在する。

「想い出の一ページ」

「これは昭和9年の旧の9月14日、午前10時の写真やなぁ」

河田勇さん(95)は、当時のことをよく覚えていました。

「この年は賀茂神社鎮座850年にあたる年。いつもはご神体は町内の御旅所しかまわらんけど、同じ年に日本初の国立公園として瀬戸内海国立公園ができたこともあって、一度、ご神体を蔦島にある賀茂神社の元宮(沖津宮)にお返しすることになったんです。

この写真は、ご神体を沖津宮にお送りするときのものです。鳥居は塩釜神社の鳥居で、ここに桟橋を作って、初めてご神体を船に乗せて海を渡ったんですよ。写真の左のほうに写っている紅白の幕を張った船が、ご神体の乗る船。他の手漕ぎの船には、祓(かみしも)をつけた神社の総代や役員が乗り、お供しました。沖津宮では夜通しかがり火を焚いて、夜が明けたら、また、ご神体が賀茂神社に戻ってくる。この年は盛大に行われたので、本当にたくさんの人が来ましたよ。

私は、ちょうど尋常高等小学校を卒業した年で、15歳でした。このときは、地元自治会のちょうさを担いで参加していましたが、50年後の鎮座900年祭では、自分も頭人になりたいと思っていました。口に出して言った覚えはなかったけれど、900年という節目のときに頭人に選ばれて、友人に『よかったなぁ。あのとき言うたとおりになったなぁ』と言われたときは、本当にうれしかったですね」

編集後記

サッカーワールドカップが開幕しましたね。日本代表の初戦、コートジボワール戦の瞬間最高視聴率は50・8%！多くのサポーターが熱い声援を送っていました。

市内でも「地域の子どもは地域で守ろう」と活動する多くのサポーターがいます。子どもたちからすると、とても心強い応援団です。皆さんも地域サポーターとして、子どもたちを温かく見守ってください。

発行・編集　三豊市役所総務部秘書課
香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1　☎0875(73)3001